

「いのち」と「暮らし」にアシスト

(会派 未来)

新田真一議会だより



三次市十日市東 3-6-38

TEL 0824-62-4171 (同 FAX)

Emil info@nitta-shinichi.com

六月議会

定例会

一般質問は一四名の議員が行いました。私は、三次市教育大綱・教育振興計画画他について質問しました。

コロナ対策交付金についての補正予算が提案され、非課税世帯への給付金・物価高騰への対応へ三次藩札の配布や給食食材費の補助等が決まりました。

三次市独自の教育課題は

新田

三次市内の中学生は市外中学・県立中学入約一八%が進学する。これほど高率の進学率は三次市しかない。そのことが、少子化で生徒の減少が著しい市立中学の小規模化に拍車をかけている。さらに成績の偏りも生み出していないか。

教育委員会

県立中学の設置は、進学を選択肢を、増やし、生徒のニーズにこたえるものである。小規模校ではクラブが成立しないとか、集団的思考についての課題はある。

成績の偏りは、市で実施する学力到達度検査においては、そのような傾向は見られない。



小規模中学校の教育環境に課題があり学区見直しの検討が必要とされているが、

小規模校の教育環境が決して良くないとは決めつけられない。

小規模校教育の特色、少人数指導の利点や地域とのつながりの中で学べる良さを求めるべきであり、小規模校が多いという三次市の特色を生かす取組みこそ考えるべきです。学区の見直し(統廃合)による解決を図るべきではない。

小学校教科書の採択にあたり

本年度が小学校の教科書採択の年になるが、前回実施された中学の教科書採択では大阪府のある市では教科書会社による採択関係者への飲食の提供等の不正が行われた。採択の公平性・透明性をどう確保するか、教科書採択の最終権限をもつ教育委員会会議の公開も必要と考える。

教育委員会

教科書採択に当たり不正があつてはならない。公平性・透明性が確保できるよう先の教育委員会会議で方針を決定した。教科書採択を決する教育委員会会議の公開については協議したい。



新学校給食調理場完成

九月より給食始まる

八月四日には新調理場の竣工式が行なわれ、新調理場での準備に入ります。九月一日より、旧市内中学校五校小学校一二校で給食が始まります。

夏休み中には二回のリハーサルが予定されています。

周辺道路の整備は若干遅れており、配送のルートや受け入れ校での準備、アレルギーへの対応 地産地消の推進 食育への取組み等課題はまだあります。子どもたちにとって安心安全の給食がますます提供されることを願います。



完成間近の新調理場

備北消防本部・三次消防署新庁舎整備計画

庁舎は、建築から四〇年を経過・浸水想定区域内にあることから整備計画が立てられました。新庁舎の移転については、最優先条件として、災害指定区域外・市街地への到着時間が現在地より大きく遅れないこと他六条件が示され検討されました。私は庁舎移転はできるだけ早く行われるべきと考えます。

しかし、候補地に広島県高平施設用地の一方所しかなく、五月の臨時議会において、補正予算で「消防本部・三次消防庁舎建設事業費」が提案されました。踏切や積雪の課題、アクセス道路や橋の整備などについて質疑が行われ、他に候補地が検討されたか等の意見も出されました。審議の結果「移転先の候補地選定根拠が不十分」等の理由から、修正案（新庁舎建設関係の予算を省く）が提出され、賛成多数で可決されました。

しかしながら、庁舎の移転は緊急の課題でもあることから、六月には全員協議会が招集され、新庁舎整備計画について、高平施設だけでなく、酒河地区・四拾貫他、高平施設以外の三候補地が示され、条件としていた六項目についての比較検討資料が示されました。消防署から部長他の参加があり説明・質疑応答を行い、消防機能を十分に発揮するためにどこが最適地かについて論議されました。六月議会定例会において、補正予算に改めて消防庁舎建設事業費についての提案がなされ、可決されました。

写真は、高平の林業試験場跡地です。ここに、庁舎・緊急車両用倉庫訓練塔・総合訓練場・ヘリポート等が建設される予定です。令和八年三月完成予定です。



六月補正予算

新型コロナウイルス感染症対策交付金事業

- ・住民税非課税世帯特別給付金
一世帯 三万円 一億九〇四五万円

- ・低所得者子育て世帯支援給付金（大学生等世帯分）
大学・専門学校等就学 一人 五万円
二〇二〇万円

- ・電気ガス等価格高騰対応生活応援給付金
全市民一人 三〇〇〇円分三次藩札配布
一億七六一九万円

- ・学校給食食材費支援事業
物価高騰による値上げ分を補助
四月一日に遡及し、全児童・生徒を対象に 一食 二〇円の補助
一三九〇万円

- ・プレミアム付商品券発行事業補助
三次藩札五万冊発行へ
五五〇〇万円補助

備北消防組合負担金

- ・消防署移転にともなう設計事業他
一億七九八万円

- ・消防本部・三次消防署新庁舎用地取得事業

- ・移転に伴う用地取得の経費
六八一六万円

にっただべいじ

フィルムから写真の時代からフィルムを一本撮ると現像・プリント代で一五〇〇円ぐらいかかりました。

決定的瞬間を撮るためには、フィルムカメラは一枚ずつ巻き上げなければならず一瞬を捉えるために全神経を集中させシャッターを切ったものでした。枠に入っていなかったり、ピンボケだったり失敗もたくさんしました。たくさん撮れば経費がかかることも気になりました。

しかし、今は高性能デジタルカメラのおかげで、ピント合わせもオート、連写で一秒間に一〇枚撮影でき、しかも何枚とってもPCに取り込むだけならただです。

しかし、自分でも納得のできる一枚が増えたかというところでもないかと思えます。たいして腕は上がっていないかどうですか？ それとも、集中力が落ちたか？ まだまだ修行が必要であるということでしょう。

保育所の親子演技から一枚

